

厚東小校長室だより



令和6年3月12日

子どもたちが考えて取り組んでいます

前号では、地域や保護者の方々から支援をいただいていることを中心にお伝えしました。本号では、子どもたちが自らの学びをよりよくしていくために取り組んでいることをお伝えします。

本校の6年生は、7月に行われた第2回学校運営協議会の熟議に参加し、自分たちの厚東小学校や厚東地区をよりよい学校・地域にするために、自分たちでできることはないかということについて、地域の方々話し合いを深めました。その後、地域をより美しくするために、ごみの問題について考え、地域のごみ拾いの活動についても考えるようになりました。

そこで、今回は子どもたちからの考えをもとに、地域の清掃活動に取り組みました。厚東地区社会教育推進委員会の皆さんにもご協力をお願いし、厚東小から棚井地区や末信地区方面の道沿いのごみ拾いを行いました。途中、沿道の方から感謝の言葉をいただく場面もあり、子どもたちも手応えを感じていたようです。「やってよかった」と子どもたちが思える活動となりました。



竹太鼓の伝統が引き継がれています

本校の伝統である「竹太鼓」。毎年4～6年生が校内や地域の様々な行事において素晴らしい演奏をしています。そして、2学期に開催した「オータムスクール」での演奏が、6年生にとっての最後の演奏となりました。この日から、リーダーが5年生に引き継がれ、3学期からは来年度に向けての活動がスタートしています。

4月から4年生となる現3年生は、昼休みなどを使って、5年生から手ほどきを受けています。新たなリーダーとなった5年生は、責任をもって、丁寧に、優しく、3年生に叩き方や姿勢、体の動きなどを教えています。3年生のやる気満々の姿、そしてそれをサポートする5年生のリーダーとしての意識のもち方が、とても輝いて見えます。来年度に向けてよいスタートを切ることができました。



6年生考案「オリジナル給食」

本日、3月12日（火）の給食の献立は、6年生が考案した「オリジナル給食」でした。6年生が家庭科で学習したことを生かして、栄養バランスや料理の組み合わせ、全校児童の嗜好などを考慮しながら、メニューを考えました。そして、そのメニューについて校長室でプレゼンテーションをし、校長の許可を取って献立表に組み入れるというものでした。なかなかよく考えられたメニューでした。これまでの学びを生かして考える力、自分の考えを表現して相手に伝える力など、小学校生活でこれまで身に付けてきた力を総動員して学びを深めました。

